

最盛期を迎えた干し大根の取り込み作業。6日午前、三島市笹原新田



7日は二十四節気の一つ「大雪」。暦の上では寒さが本格的に深まる時期とされる。三島市笹原新田の本間一平さん(38)の畑では、たくあん用の干し大根の取り込み作業が最盛期を迎えている。

きょう「大雪」

11月下旬に収穫して干し始めた。1500平方メートルの畑にすらりと並べて干された大根は約1万5千本。折り曲げて乾き具合を確認しながら、干し葉の部分を取り取って取り込んだ。

本間さんは「ことしは雨が多くて厳しい条件だったが、パリパリとした歯切れの良い食感に仕上がっている」と話した。たくあんは今月下旬には漬け上がるといふ。

(東部総局・山川侑哉)

寒風干し 大根1万5000本 深まる味

三島

2019年12月7日朝刊

① 「大雪」とは、どのような時期のことですか。

[]

② 大根を寒風干しにして、何を作るのでしょうか。

[]

③ 1万5000本もの大根を干し終えた本間さんが、それらを見て思っていることを書いてみましょう。

[]

年 組 名前